

図2-2-20 県北沿岸海域環境基準点

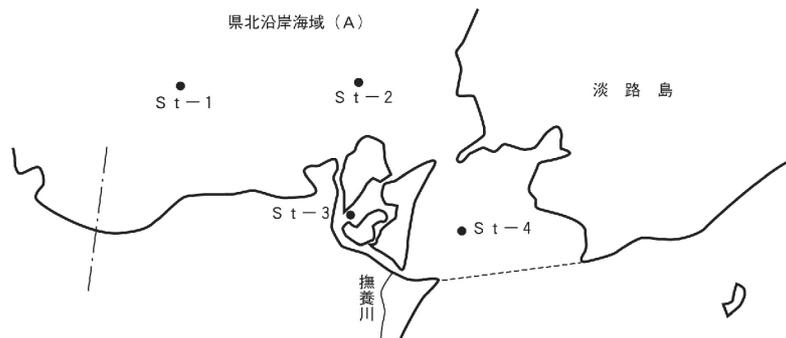


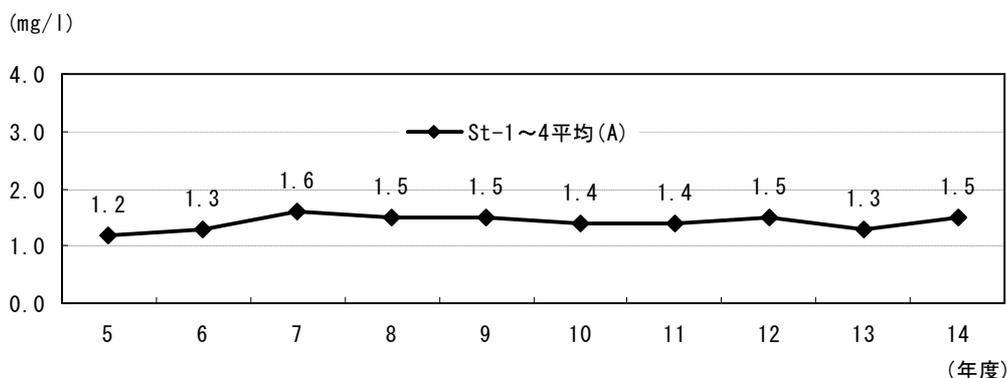
表2-2-41 県北沿岸海域の測定結果

(平成14年度)

水域名 (河川名等)	地点名	類型	pH	DO	COD		油分	大腸菌群数	全窒素	全リン
			最小～最大	平均	平均	75%値	平均	平均	平均	平均
県北沿岸海域	St-1	A	8.0～8.2	7.9	1.5	1.7	ND	0.0e0	0.17	0.020
〃	St-2	〃	8.0～8.2	7.7	1.4	1.6	ND	0.0e0	0.16	0.021
〃	St-3	〃	8.0～8.2	7.8	1.5	1.6	ND	4.4e0	—	—
〃	St-4	〃	8.0～8.2	7.4	1.4	1.5	ND	2.1e0	0.17	0.021

(注) 平均:日間平均値の年平均値 75%値:日間平均値の年間75%値 ND:不検出 en:×10n
測定値の単位:pHは水素イオン濃度指数、大腸菌群数はMPN/100ml、それ以外はmg/l

図2-2-21 COD年平均値の経年変化 (県北沿岸海域)



b 紀伊水道海域

本海域は、瀬戸内海と外海の太平洋を結び、船舶の往来の多い海域です。また、県の人口及び企業の集中する県東部地区の沿岸海域であり、河川からの汚濁負荷がある水域です。

平成14年度の環境基準点(図2-2-22)における測定結果は、表2-2-42のとおりです。類型A水域の3基準点におけるCOD75%値は1.4～1.6mg/lであり、類型B水域のSt-9では2.5mg/lで両水域ともCODに係る環境基準は維持達成されています。また、全窒素及び全燐の3基準点における平均値は、0.18～0.20mg/l及び0.020～0.022mg/lであり、全窒素及び全燐に係る環境基準は達成されています。

COD年平均値の経年変化は、図2-2-23のとおりです。

図2-2-22 紀伊水道海域環境基準点

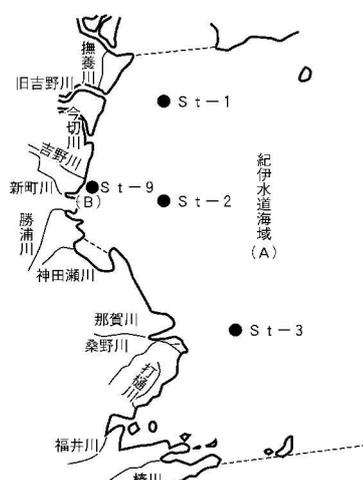
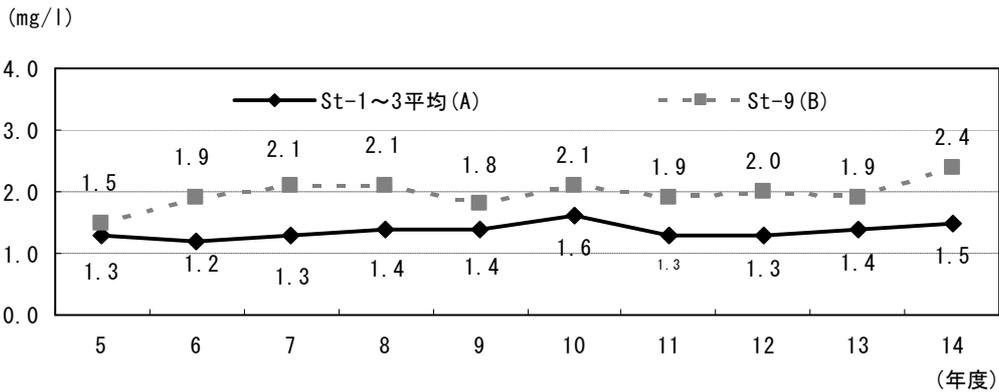


表2-2-42 紀伊水道海域の測定結果

(平成14年度)

水域名 (河川名等)	地点名	類型	pH	DO	COD		油分	大腸菌群数	全窒素	全リン
			最小～最大		平均	平均				
紀伊水道海域	St-1	A	8.0～8.2	7.6	1.4	1.4	ND	1.6e0	0.20	0.022
〃	St-2	〃	8.1～8.3	8.1	1.5	1.6	ND	0.0e0	0.20	0.020
〃	St-3	〃	8.0～8.3	8.0	1.5	1.5	ND	6.2e0	0.18	0.020
〃	St-9	B	8.0～8.3	8.0	2.4	2.5	ND	—	—	—

図2-2-23 COD年平均値の経年変化（紀伊水道海域）



c 県南沿岸海域

本海域は、太平洋に面した外洋性の海域であり、当該地域は人口及び工場が少なく、流入する河川の水質も良好であり、また、天然の好漁場を有する水域です。

平成14年度の環境基準点（図2-2-24）における測定結果は、表2-2-43のとおりであり3基準点（類型A）におけるCOD75%値は1.0～1.2mg/lであり、CODに係る環境基準は達成されています。

COD年平均値の経年変化は、図2-2-25のとおりであり、例年とほぼ同程度となっています。

図2-2-24 県南沿岸海域環境基準点

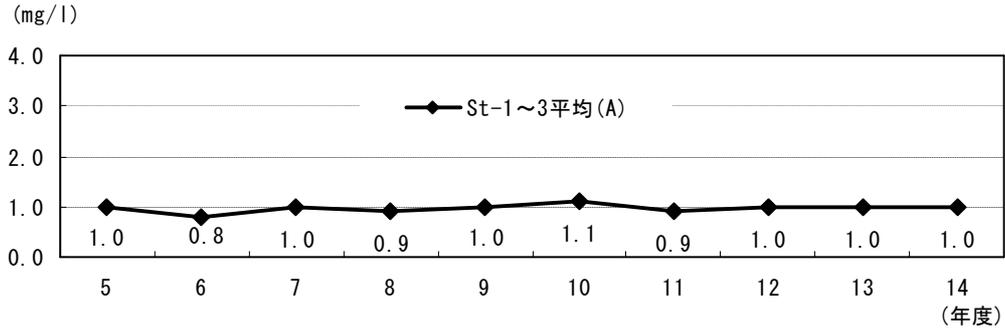


表2-2-43 県南沿岸海域の測定結果

(平成14年度)

水域名 (河川名等)	地点名	類型	pH	DO	COD		油分	大腸菌群数
			最小～最大		平均	平均		
県南沿岸海域	St-1	A	8.0～8.3	7.5	1.0	1.2	ND	0.0e0
〃	St-2	〃	8.1～8.3	7.3	1.0	1.0	ND	0.0e0
〃	St-3	〃	8.1～8.3	7.1	1.0	1.1	ND	1.2e2

図2-2-25 COD年平均値の経年変化（県南沿岸海域）



d 港湾等の海域

港湾及び河川の河口部においては、小松島港、富岡港、橘港、椿泊湾、勝浦川河口及び那賀川河口に海域の類型指定を行っています。（図2-2-26）

小松島港は、重要港湾として海上交通の拠点となっており、船舶の航行が多く、また、生活系、産業系の汚濁負荷があります。富岡港は、那賀川の派川の河口部に位置し、岡川及び桑野川の流域にあり、生活排水及び製紙工場等の排水の流入汚濁負荷があります。また、橘港は重要港湾であり、沿岸に発電所や化学工場が立地しております。

椿泊湾は、椿川が流入する天然の良港であり、勝浦川河口及び那賀川河口は海水の影響を受ける感潮域です。

平成14年度の測定結果は、表2-2-44のとおりであり、CODに係る環境基準是那賀川河口において未達成となったほかは全ての水域で達成されています。

また、COD年平均値の経年変化は、図2-2-27のとおりです。

また、全窒素及び全燐の各基準点の平均値は、小松島港が0.24mg/l及び0.029mg/l、橘港が0.17~0.18mg/l及び0.018~0.021mg/lであり、全窒素及び全燐に係る環境基準は達成されています。

図2-2-26 港湾等の海域環境基準点等

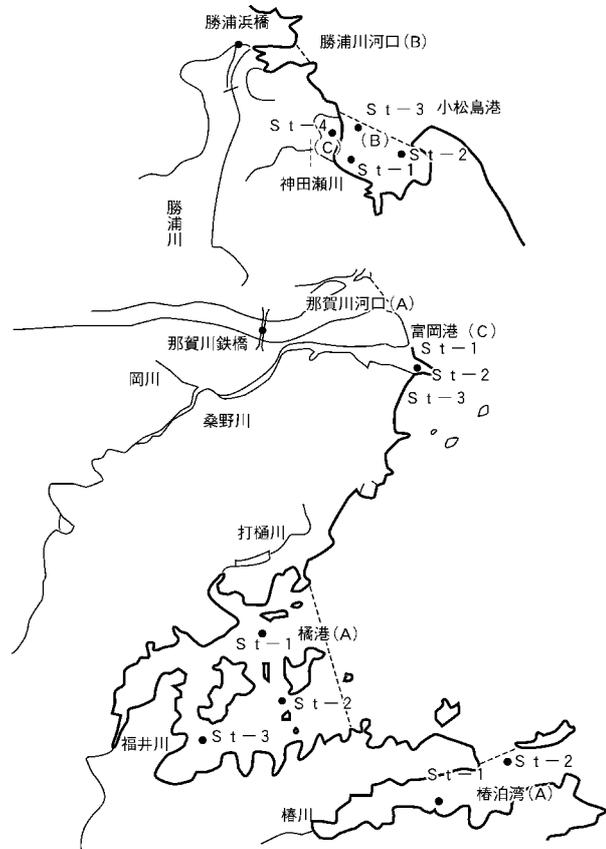
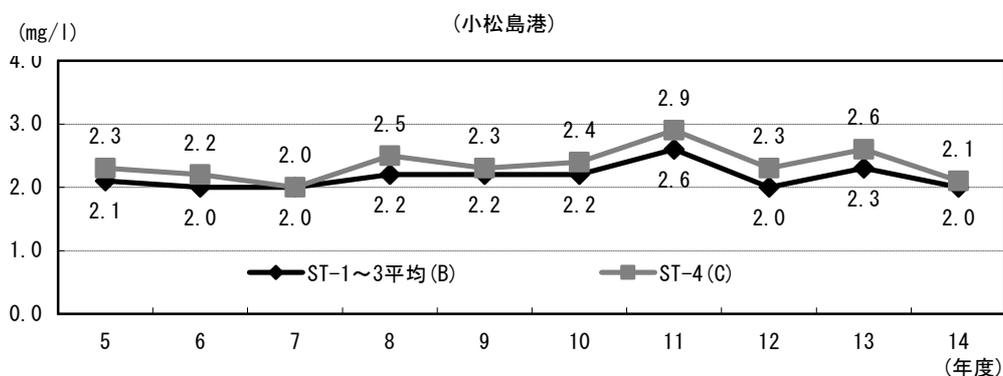
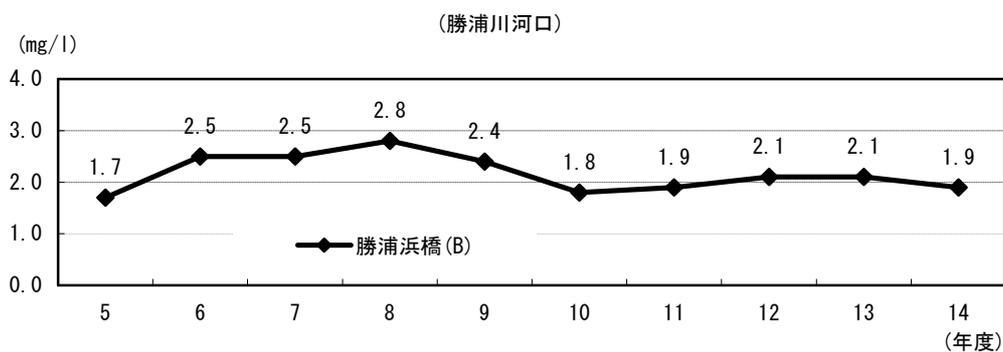


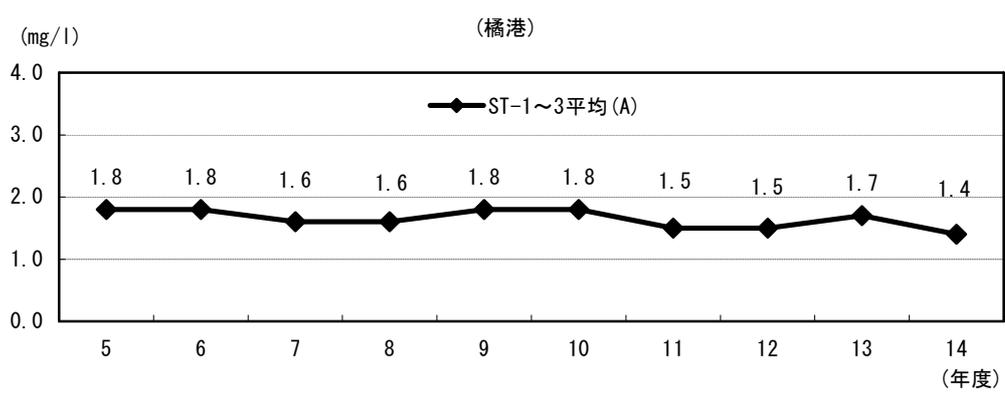
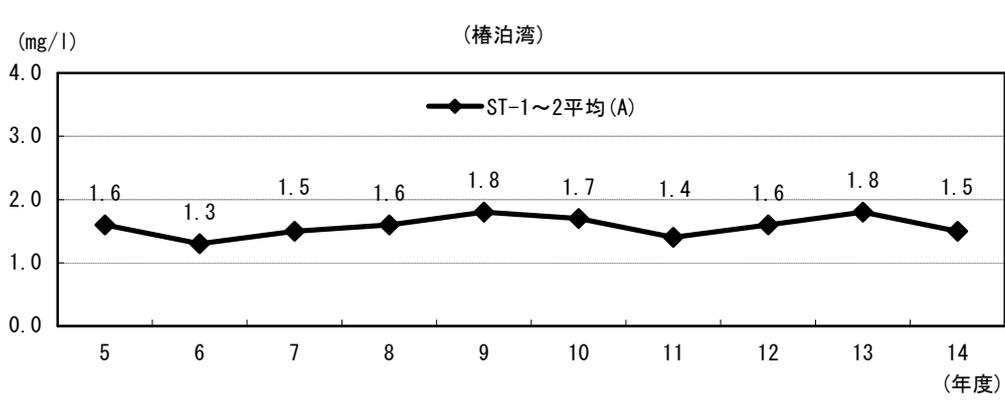
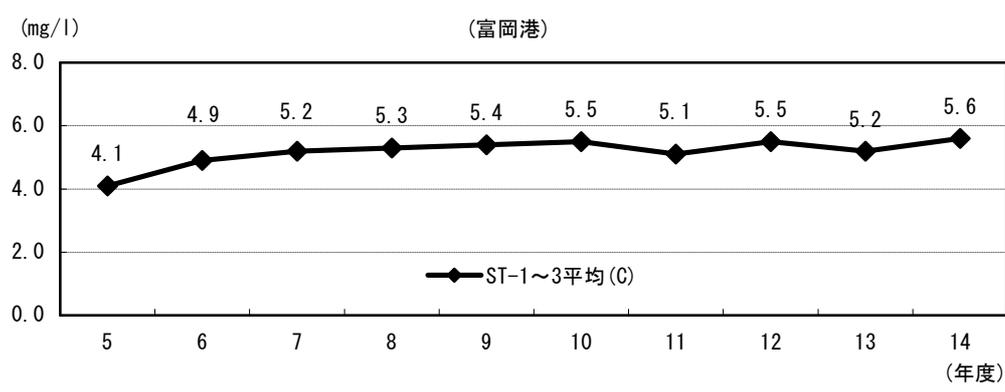
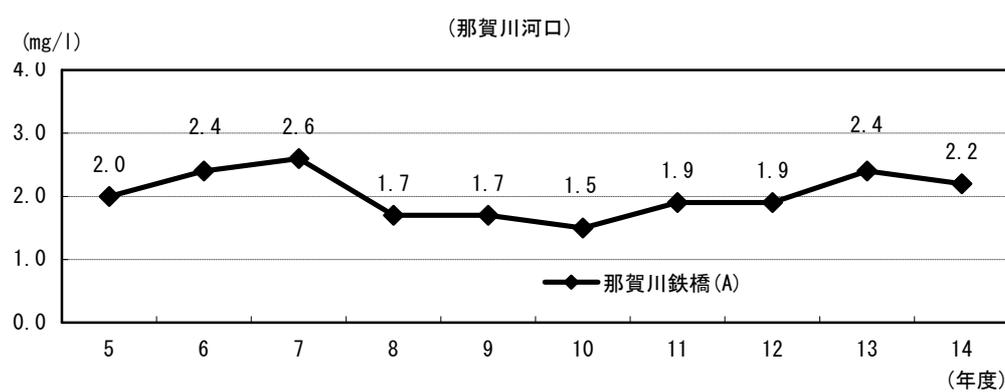
表2-2-44 港湾等の海域の測定結果

(平成14年度)

水域名 (河川名等)	地点名	類型	pH	DO	COD		油分	大腸菌群数	全窒素	全リン
			最小～最大		平均	平均				
勝浦川河口	勝浦浜橋	B	7.1～8.3	8.5	1.9	2.0	ND	—	—	—
小松島港	St-1	B	8.1～8.3	8.7	2.1	2.7	ND	—	—	—
〃	St-2	〃	8.1～8.3	8.6	2.1	2.4	ND	—	—	—
〃	St-3	〃	8.1～8.2	8.5	1.8	2.2	ND	—	0.24	0.029
〃	St-4	C	8.0～8.4	8.7	2.1	2.6	—	—	—	—
那賀川河口	那賀川鉄橋	A	7.1～8.2	9.3	2.2	2.6	ND	7.5e2	—	—
富岡港	St-1	C	7.5～8.6	7.0	5.3	6.0	—	—	—	—
〃	St-2	〃	7.4～8.6	7.3	5.5	5.8	—	—	—	—
〃	St-3	〃	7.5～8.2	7.0	5.9	6.0	—	—	—	—
椿泊湾	St-1	A	8.1～8.2	7.5	1.5	1.6	ND	1.5e0	—	—
〃	St-2	〃	8.0～8.2	7.6	1.4	1.5	ND	0.0e0	—	—
橋港	St-1	A	8.1～8.3	7.8	1.4	1.6	ND	1.0e1	0.18	0.018
〃	St-2	〃	8.1～8.3	7.5	1.4	1.5	ND	2.0e0	0.17	0.021
〃	St-3	〃	8.1～8.3	7.7	1.5	1.7	ND	1.1e0	—	—

図2-2-27 COD平均値の経年変化(港湾等)





④ 健康項目

水質汚濁に係る環境基準のうち、人の健康の保護に関する環境基準は、26項目（カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン等）が定められております。

平成14年度においては、環境基準点を中心に、河川40地点、海域15地点の2,180検体の測定を行った結果、全ての地点、全ての項目において環境基準を達成していました。（表2-2-45）

表2-2-45 健康項目測定結果表（平成14年度・水域別総括表）

（海域）

項目名	水域名		東北沿岸海域		紀伊水道海域		県南沿岸海域		勝浦川河口		小松島港		那賀川河口		富岡港		橋港		椿泊湾		計	
	測定地点数	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)	(1)	(4)	(1)	(15)								
	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値
カドミウム	0/1	<0.001	0/2	<0.001	0/1	<0.001	0/1	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/1	<0.001	0/1	<0.001	0/1	<0.001	0/12	<0.001		
全シアン	0/1	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/2	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/12	ND		
鉛	0/1	<0.005	0/2	<0.005	0/1	<0.005	0/1	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/16	<0.005	0/1	<0.005	0/1	<0.005	0/1	<0.005	0/26	<0.005
六価クロム	0/1	<0.05	0/2	<0.05	0/1	<0.05	0/1	<0.05	0/2	<0.05	0/2	<0.05			0/13	<0.05	0/13	<0.05	0/1	<0.05	0/22	<0.05
ヒ素	0/1	<0.005	0/2	<0.005	0/1	<0.005	0/1	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/1	<0.005	0/1	<0.005	0/1	<0.005	0/1	<0.005	0/12	<0.005
総水銀	0/1	<0.0005	0/2	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/2	<0.0005	1/16	0.0006	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/26	0.0006
アルキル水銀	0/1	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/11	ND
PCB	0/1	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/2	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/1	ND	0/12	ND		
トリクロロエチレン	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/12	<0.002
テトラクロロエチレン	0/1	<0.0005	0/2	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/12	<0.0005
ジクロロメタン	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/12	<0.002
四塩化炭素	0/1	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	0.0002	0/1	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/12	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	0/1	<0.0004	0/2	<0.0004	0/1	<0.0004	0/1	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	<0.0004	0/1	<0.0004	0/1	<0.0004	0/1	<0.0004	0/1	<0.0004	0/12	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/12	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	0/1	<0.004	0/2	<0.004	0/1	<0.004	0/1	<0.004	0/2	<0.004	0/2	<0.004	0/1	<0.004	0/1	<0.004	0/1	<0.004	0/1	<0.004	0/12	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	0/1	<0.0005	0/2	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/1	<0.0005	0/12	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0/1	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/12	<0.0006
1,3-ジクロロプロペン	0/1	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/12	<0.0002
チウラム	0/1	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/12	<0.0006
シマジン	0/1	<0.0003	0/2	<0.0003	0/1	<0.0003	0/1	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/1	<0.0003	0/1	<0.0003	0/1	<0.0003	0/1	<0.0003	0/12	<0.0003
チオベンカルブ	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/12	<0.002
ベンゼン	0/1	<0.001	0/2	<0.001	0/1	<0.001	0/1	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/1	<0.001	0/1	<0.001	0/1	<0.001	0/1	<0.001	0/12	<0.001
セレン	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.001	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/12	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0/1	<0.2	0/2	<0.2	0/1	<0.2	0/2	0.7	0/2	<0.2	0/43	0.4	0/1	0.4	0/1	<0.2	0/1	<0.2	0/54	0.7		

（河川）

項目名	水域名		吉野川		勝浦川		小松島港流入河川		那賀川		橋港流入河川		椿泊湾流入河川		県南沿岸流入河川		計	
	測定地点数	(22)	(2)	(1)	(6)	(2)	(1)	(6)	(40)									
	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値	m/n	最大値
カドミウム	0/38	<0.001	0/6	<0.001	0/2	<0.001	0/12	<0.001	0/4	<0.001	0/2	<0.001	0/12	<0.001	0/76	<0.001		
全シアン	0/38	ND	0/6	ND	0/2	ND	0/12	ND	0/4	ND	0/2	ND	0/12	ND	0/76	ND		
鉛	0/41	<0.005	0/6	<0.005	0/2	<0.005	0/78	0.006	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/12	<0.005	0/145	0.006		
六価クロム	0/24	<0.05	0/6	<0.05	0/2	<0.05	0/6	<0.05	0/4	<0.05	0/2	<0.05	0/12	<0.05	0/56	<0.05		
ヒ素	0/36	<0.005	0/6	<0.005	0/2	<0.005	0/12	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/12	<0.005	0/74	<0.005		
総水銀	0/54	<0.0005	0/12	<0.0005	0/6	<0.0005	0/90	<0.0005	0/12	<0.0005	0/6	<0.0005	0/36	<0.0005	0/216	<0.0005		
アルキル水銀	0/40	ND	0/12	ND	0/6	ND	0/18	ND	0/12	ND	0/6	ND	0/36	ND	0/130	ND		
PCB	0/22	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/9	ND	0/2	ND	0/1	ND	0/6	ND	0/43	ND		
トリクロロエチレン	0/32	<0.002	0/5	<0.002	0/1	<0.002	0/9	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/6	<0.002	0/56	<0.002		
テトラクロロエチレン	0/32	<0.0005	0/5	<0.0005	0/1	<0.0005	0/9	<0.0005	0/2	<0.0005	0/1	<0.0005	0/6	<0.0005	0/56	<0.0005		
ジクロロメタン	0/25	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/9	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/6	<0.002	0/46	<0.002		
四塩化炭素	0/25	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	<0.0002	0/9	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	<0.0002	0/6	<0.0002	0/46	<0.0002		
1,2-ジクロロエタン	0/25	<0.0004	0/2	<0.0004	0/1	<0.0004	0/9	<0.0004	0/2	<0.0004	0/1	<0.0004	0/6	<0.0004	0/46	<0.0004		
1,1-ジクロロエチレン	0/25	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/9	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/6	<0.002	0/46	<0.002		
シス-1,2-ジクロロエチレン	0/25	<0.004	0/2	<0.004	0/1	<0.004	0/9	<0.004	0/2	<0.004	0/1	<0.004	0/6	<0.004	0/46	<0.004		
1,1,1-トリクロロエタン	0/32	<0.0005	0/5	<0.0005	0/1	<0.0005	0/9	<0.0005	0/2	<0.0005	0/1	<0.0005	0/6	<0.0005	0/56	<0.0005		
1,1,2-トリクロロエタン	0/25	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/9	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/6	<0.0006	0/46	<0.0006		
1,3-ジクロロプロペン	0/25	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	<0.0002	0/9	<0.0002	0/2	<0.0002	0/1	<0.0002	0/6	<0.0002	0/46	<0.0002		
チウラム	0/23	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/9	<0.0006	0/2	<0.0006	0/1	<0.0006	0/6	<0.0006	0/44	<0.0006		
シマジン	0/23	<0.0003	0/2	<0.0003	0/1	<0.0003	0/9	<0.0003	0/2	<0.0003	0/1	<0.0003	0/6	<0.0003	0/44	<0.0003		
チオベンカルブ	0/23	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/9	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/6	<0.002	0/44	<0.002		
ベンゼン	0/25	<0.001	0/2	<0.001	0/1	<0.001	0/9	<0.001	0/2	<0.001	0/1	<0.001	0/6	<0.001	0/46	<0.001		
セレン	0/23	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/9	<0.002	0/2	<0.002	0/1	<0.002	0/6	<0.002	0/44	<0.002		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0/145	0.9	0/2	0.8	0/1	0.6	0/9	1.1	0/2	0.7	0/1	0.5	0/6	0.2	0/232	1.1		
ふっ素	0/9	0.17	0/2	<0.1			0/7	<0.1	0/2	0.1	0/1	<0.1	0/6	<0.1	0/27	0.17		
ほう素	0/9	<0.1	0/2	<0.1			0/7	0.15	0/2	<0.1	0/1	<0.1	0/6	<0.1	0/27	0.15		

⑤ 水質自動測定機器による測定結果

今切川の鯛浜堰上流側及び勝浦川の田浦堰上流側において、水質自動測定機器による測定を行っています。その結果は次のとおりです。

表2-2-46 水質自動測定器による測定結果

観測項目 測定局	pH	濁度		DO		COD	
	最小～最大 (月平均)	最小～最大 (月平均)	年平均	最小～最大 (月平均)	年平均	最小～最大 (月平均)	年平均
今切川水質自動測定局	6.8～8.5	3～84	9	5.2～12.7	9.2	0.5～4.4	1.7
勝浦川水質自動測定局	7.2～8.5	0～177	11	7.4～12.2	9.9	0.0～2.3	0.8

(注) 1. 今切川水質自動測定局 1) 環境基準河川「C」 2) 測定場所鯛浜堰上流側
2. 勝浦川水質自動測定局 1) 環境基準河川「A」 2) 測定場所田浦堰上流側

(3) 底質の状況

県内の主要な河川及び海域において実施した底質の測定結果は、表2-2-47のとおりであり、総水銀及びPCBについては、現在定められている暫定除去基準を超える値は測定されず、全般的に有害物質による汚染はみられませんでした。

表2-2-47 平成14年度公共用水域底質測定結果

河川 海域名	地点名	地点 統一 番号	カドミ ウム ($\mu\text{g/g}$)	全シ アン ($\mu\text{g/g}$)	鉛 ($\mu\text{g/g}$)	クロム (6価) ($\mu\text{g/g}$)	ヒ素 ($\mu\text{g/g}$)	総水銀 ($\mu\text{g/g}$)	アルキ ル水銀 ($\mu\text{g/g}$)	PCB ($\mu\text{g/g}$)	総 クロム ($\mu\text{g/g}$)	銅 ($\mu\text{g/g}$)	マンガン ($\mu\text{g/g}$)	COD 乾泥 (mg/g)	強熱 減量 (%)	含水量 (%)
吉野川	大川橋	001-01	0.01		7.9	<0.5	3.6	0.07	<0.01					0.32	1.3	22
	高瀬橋	002-01	<0.05	<0.5	3.4	<1.0	1.3	0.02	<0.01	<0.01	48	16.4			1	21
旧吉野川	市場橋	003-01	<0.05	<0.5	4.1	<1.0	1.0	0.03	<0.01	<0.01	35	19.5			2	21
	大津橋	004-01	<0.05	<0.5	7.0	<1.0	1.3	0.19	<0.01	0.02	54	17.3			1	25
今切川	鯛浜堰上流側	005-01	<0.05	<0.5	33.3	<1.0	5.5	0.26	<0.01	0.04	258	104			13	61
	加賀須野橋	006-01	<0.05	<0.5	9.4	<1.0	1.6	0.07	<0.01	0.01	81	37.0			1	24
	S T - 2		1.04		38.2	<0.5	10.5	2.1	<0.01					27.2	7.94	62
新町川	新町橋	008-01	0.79		61	<2	6.5	1.2	<0.01	0.06				32.0	6.8	36
勝浦川河口	勝浦浜橋	605-01	0.11		11	<2	5.6	0.08	<0.01	<0.01				2.3	4.7	24
神田瀬川	神代橋	010-01	0.39		35.9	<0.5	5.6	0.40	<0.01					15.6	3.39	31
那賀川	那賀川橋	012-01	<0.05	<0.5	3.6	<1.0	1.4	0.07	<0.01	<0.01	74	12.3			2	17
那賀川河口	那賀川鉄橋	604-01	<0.05	<0.5	3.2	<1.0	1.3	0.08	<0.01	<0.01	79	10.6			2	17
桑野川	富岡新橋	014-01	<0.05	<0.5	4.9	<1.0	1.3	0.21	<0.01	<0.01	27	6.1			2	22
	領家	014-52	0.23	<0.5	28.8	<1.0	4.3	0.63	<0.01	<0.01	111	65.0			38	60
福井川	大西橋	019-01	0.07		8.7	<0.5	3.3	0.17	<0.01					6.23	3.06	29
牟岐川	牟岐橋	022-01	0.01		8.3	<0.5	5.4	0.11	<0.01					3.49	2.62	21
母川	母川橋	025-01	0.10		7.0	<0.5	4.2	0.07	<0.01					2.27	2.3	27
小松島港	S t - 1	603-01	0.13		16.8	<0.5	7.9	0.30	<0.01					19.1	5.42	34
	S t - 2	603-02	0.14		22.2	<0.5	8.9	0.24	<0.01					19.1	6.63	44
	S t - 3	603-03	0.09		21.6	<0.5	8.3	0.32	<0.01					16.6	6.09	40
	S t - 4	602-01	0.21		21.9	<0.5	9.2	0.33	<0.01					34.8	8.09	50
富岡港	S t - 2	601-02	0.07		11.5	<0.5	5.9	0.24	<0.01					8.44	3.24	38
橘港	S t - ア	701-91	0.11		19.3	<0.5	7.2	0.60	<0.01		110		470	20.7	5.68	29
	S t - イ	701-92				<0.5					140		590	26.8	7.61	42
	S t - ウ	701-93				<0.5					130		630	21.5	5.54	34
	S t - エ	701-94	0.08		19.3	<0.5	7.6	0.28	<0.01		110		390	16.0	6.05	35

(4) 赤潮の発生状況

平成14年の赤潮発生件数は県下全体で3件で、赤潮構成種（優占種）は3種、発生海域別には播磨灘2件、紀伊水道1件、太平洋0件でした。

また、赤潮被害は発生しませんでした。

表2-2-48 海域別月別赤潮発生状況

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
播磨灘	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
紀伊水道	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
太平洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3

表2-2-49 赤潮構成プランクトン別出現数

赤潮構成種名	発生件数
ノクチルカ シンチランス	1
ヘテロシグマ アカシオ	1
プロロセントラム デンタータム	1
合計	3

図2-2-28 赤潮形成域の分布

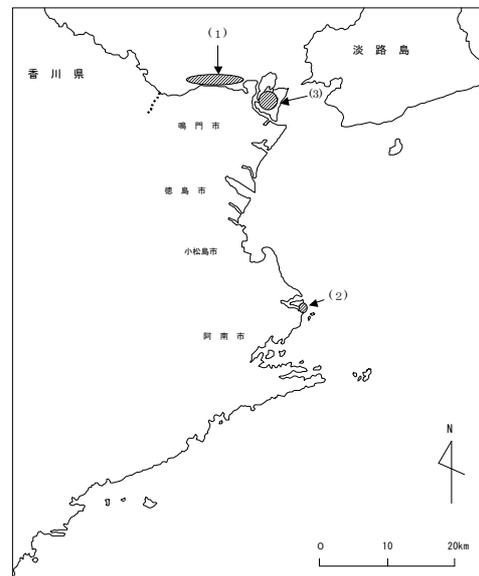


図2-2-29 赤潮発生件数及び被害件数の経年変化

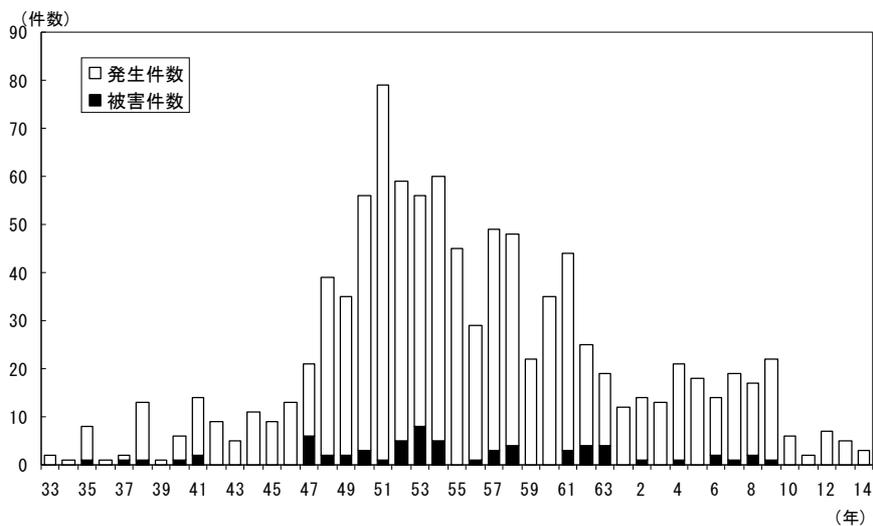


表2-2-50 平成14年の赤潮発生状況

整理番号	発生時期	日数	発生海域	赤潮構成種名	漁業被害	最高細胞数 (cells/ml)
1	5/23～5/31	9	播磨灘鳴門市沿岸	Noctiluca scintillans	無	不明
2	6/6～6/9	4	紀伊水道 阿南市沿岸	Heterosigma akashiwo	無	1300
3	7/5～7/15	11	鳴門市内の海	Prorocentrum dentatum	無	6250

(5) 地下水の水質の状況

水質汚濁防止法第16条の規定により作成した平成14年度の地下水の水質の測定に関する計画に基づき、国土交通省、県、徳島市、北島町及び脇町が39市町村、91地点で測定しました。(表2-2-51、表2-2-52)

表2-2-51 市町村数、測定地点数及び検体数

区分	市町村数	地点数	検体数	
			健康項目	その他項目
概況調査	36	60	1,091	477
定期モニタリング調査	9	31	478	79
計	45(39)	91	1,569	556

(注) () 内は重複を除いた市町村数

表2-2-52 測定井戸の諸元

区分	井戸の用途				井戸の深度		
	飲料用等		工業用	その他	浅井戸	深井戸	不明
	一般	生活					
概況調査	19	25	0	16	35	16	9
定期モニタリング調査	6	6	4	15	6	16	9
計	25	31	4	31	41	32	18

① 調査の概要

(ア) 概況調査

県下全域を対象として、2kmメッシュに分割し、飲料用、農業用、工業用、水産用等の地下水の利用のある地域について、その区域の井戸の設置状況、地下水の利用状況、工場・事業場の立地状況等を勘案し、年次的に実施しております。

平成14年度においては、36市町村、60地点で実施しました。

(イ) 定期モニタリング調査

吉野川、那賀川流域において地下水の水質の経年変化を把握するため31地点において実施しました。

② 環境基準の適合状況

地下水は、身近にある貴重な水資源として広く活用されており、汚染の未然防止を図ることが重要であるため、トリクロロエチレン、カドミウム等26項目について地下水環境基準が定められています。

平成14年度の概況調査、定期モニタリング調査における環境基準の適合状況は表2-2-53のとおりであり、91地点のうち、86地点においては全ての項目について地下水環境基準を達成していました。平成14年度における地下水の調査地点は図2-2-30のとおりです。